

まちの史跡めぐり……(104)

町文化財専門委員 石瀧 豊美

江戸時代へようこそ(15)

= 村の一年(続き) =

この内、築造年のわかって
いるのは一九。築造年不明が
多いのですが、不明なのはお
そらく、記録が残らないほど
古い時代に作られたものだと
いうことを意味する、と考え
られます。

次に、判明する分について
築造年順に並べてみると次の
通りです。築立年・所在地(村
名)の順に記しています。地
名の読みは参考までに付けて
いますが、間違っているかも
しれません。

築立年	所在地(村名)
一六三四	柿本(本合)
一六六一	仏道(新原)
一七一六	榎木原(上須恵)
一七二七	伊勢山(上須恵)
一七四〇	烏帽子形(須恵)
一七四一	笹原(上須恵)
一七四六	南面里後(上須恵)
一七七二	奈起田(須恵)
同	大谷(植木)
一七七七	大塚(植木)
一七九五	永谷(本合)
一七九九	芋堀(旅石)
一八〇六	小鳥越(上須恵)
一八二三	金堀谷(上須恵)
一八二六	草場(須恵)
同	藤浦(須恵)
一八二七	池下(新原)
一八五三	深田浦(上須恵)
一八五七	長礼(須恵)

こうして見ると、一七世紀
に二個、一八世紀に一〇個、
一九世紀に七個となり、江戸
時代を通じてため池の築造が
盛んに行われていることがわ

かります。
農業用水はどこから水を引
くかで、天水請け、堤掛かり、
井手掛かりなどに分かれます。
天水請けは外部から水を引か
ず、雨が頼りです。堤掛かり
はため池、井手掛かりは川の
堰から取水しました。
井手はたとえば佐谷村の場
合、寛政五年(一七九三)の
村明細帳で三七カ所をあげて
います。本川筋に一三カ所、
割石川筋に三カ所、佐谷川筋
に二カ所。井手にはその都
度、竹の笹や土の俵などでせ
き止める方法と、木や石で頑
丈な構造にする方法とがあり
ました。その維持・管理だけ
でもたいへんだったことしょ
う。

ため池や井手から田までは、
溝(水路)や樋で水を流しま
す。こうした用水施設の維持
管理は個人では手が回らず、
権利も複雑に絡んでいます。
それで、庄屋の指揮のもと、
村全体で工事や管理に取り組
んだのです。

反対側には古大間池がありま
す。古大間池は粕屋町、新大
間池は須恵町・粕屋町にまた
がっていて、一部が篠栗町に
かかっています。
新大間池の水は若杉山中腹
から一部、地下水路で引かれ
ています。いったん新大間池
にたまった水を、さらに駕与
丁池へとためるのです。この
水路を仕掛溝と言います。文
政七年(一八二四)に完成し
ました。水路は全体でおおよそ
三・六キロ。その内、巨岩に
通したトンネル部分はおおよそ
九メートルありました。
長い歳月を要した難工事で
したが、戸原村の大庄屋長卯
平のねばりつよい指導と、戸
原村出身の博多の豪商立石又
左衛門が提供した巨額の工事
費、それに工事に携わった農
民たちの努力が、工事を完成
に導いたのでした。
風景の中に溶け込んでいて、
ふつうは意識しないことです
が、どのため池も、農民みず
からが作り上げ、何百年も守っ
てきたものだということは、
忘れることはできません。

久我記念美術館

12月企画展 10日(土)~25日(日)
(月曜休館・入館無料)

堀澤大吉展

“月はうさぎの夢を見る”

12月の久我記念美術館は、10日から25日
まで、堀澤大吉展と、まなビック(生涯学習講
座)の「色鉛筆画教室」展を開催します。



堀澤さんは、1955生まれ。九州産業大学美術
学部で彫刻科を専攻。アトリエは新宮町にあり、現
在はアクリル画と立体作品づくりに傾倒しているアー
ティストです。

今回は、F3(27・3号×22・0号)から1
2号までのアクリル画40点と、立体作品(オブジェ)
約7点が展示されます。絵画のテーマは「夜は明る
く美しい」、どんな感性が響くのか楽しみです。
メッセージが寄せられましたので紹介します。

「まなビック色鉛筆画教室」展 赤・青・黄の三色で広がる色鉛筆の世界

講師からのメッセージ

「昨年に引き続き、まなビック色鉛筆画教室の、
学人(まなびと)たちの世界にひとつだけ「オンリー
ワン」の絵が仕上がりました。花や野菜
など身近にあるものの、美しさに改めて心を動か
され、赤・青・黄の三色の色鉛筆で表現しま
した。

色鉛筆で感動を伝えることは中々思うようには
いきませんが、描いているときは楽しくて夢
中でした。楽しい色鉛筆の空間を感じにご来館
いただければ、とてもうれしく思います。」

まなビック色鉛筆画教室
講師 案浦 博子

作家からのメッセージ

「月の光に照らし出さ
れた風景の中で、実在する人
物をモデルとした「ウサギ」
たちに、人の心の喜び・幸せ・
悲しみ・せつなさ、そしてそ
れぞれの想いを、移りゆく季
節の中で演じさせている。そ
んな誠に応じないほど自分勝手な私的心象風景であ
る。」



主な個展歴

1981年	「画廊さかもと」にて二人展
1983年	「 」にて個展
1986年	「 」にて個展
2001年	「ギャラリーだいせん」にて個展
2003年	「花立花特設ギャラリー」にて個展

11月の企画展

ガラスと布のハーモニー

塚原瑜伽嗣・大石由美子 2人展

11月8日(火)~27日(日)月曜休館・入場無料)

スタンドグラスとパッチワークの実演会

とき 11月20日(日) 14:00~17:00